

セゾン資産形成の達人ファンド

運用報告書(全体版)

第17期(決算日 2023年12月11日)

■当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	一貫した「長期投資」という投資哲学に基づいて運用されているファンドへの投資を通じて、長期的な資産の成長を図ります。投資にあたっては、国内外の投資信託証券の中から、資産規模、運用実績、コストなどの面ならびにファンドの運用方針、投資態度をリサーチの上、投資を行います。原則として、為替ヘッジは行いません。
主要運用対象	有価証券に投資する国内外の投資信託証券を投資対象とします。
組入制限	①外貨建資産への投資には制限を設けません。 ②投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ③投資信託証券ならびに短期金融資産以外の有価証券への直接投資は行いません。 ④デリバティブの直接利用は行いません。 ⑤一般社団法人投資信託協会規則に定める一者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。
分配方針	毎決算時に、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わないこともあります。信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。当ファンドは、分配金再投資専用とします。収益分配金は、税金を差し引いた後、再投資されます。

受益者の皆さまへ

平素は「セゾン資産形成の達人ファンド」に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。

この度、第17期決算を行いましたので、当期の運用状況をご報告いたします。

当期間も信託財産の長期的な成長を図ることを目的とした運用を、変わらずに行って参りましたことを合わせてご報告申し上げます。

今後も、皆さまの長期資産形成のお役に立てるよう、引き続き努めて参りますので、より一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

SAISON
ASSET
MANAGEMENT

セゾン投信

■お問い合わせ先

セゾン投信株式会社 お客様窓口

〒170-6048 東京都豊島区東池袋3-1-1

[ホームページ] <https://www.saison-am.co.jp>

[電話番号] 03-3988-8668

[営業時間] 9:00~17:00(土日祝日、年末年始を除く)

運用担当者の紹介

セゾン資産形成の達人ファンドは、ファンド・オブ・ファンズの仕組みを活用して、世界の優れたリソースを活用しながら、日本の生活者の方の長期の資産形成に資することができるよう、不確実な市場の予想に頼ることなく、長期的なリターンと幅広い分散によるリスクの軽減を重視して、チームで運用を行っています。

マルチマネージャー運用部長、ポートフォリオマネージャー

瀬下 哲雄

主な役割

投資戦略の策定、具体的投資方針の策定

運用経験年数 17年

経歴

1996年 上智大学経済学部経営学科卒業

2006年 セゾン投信入社、2007年3月のファンド設定時より運用を担当し、2011年よりポートフォリオマネージャー、2014年から運用部長、2021年から現職。



運用体制の変更について

2023年6月28日をもって2007年4月より代表取締役を務め、2014年3月よりチーフインベストメントオフィサー（CIO）を兼任しておりました中野晴啓氏が退任しました。以後、当社はCIOを置いておりませんが、CIOが指示してきた基本的な運用の方向性は、2007年3月にファンドが設定されて以来、16年以上一貫して運用の実務を担ってきたマルチマネージャー運用部にしっかりと共有されており、もちろん目論見書に記載されているファンドの運用方針にも変更はなく、引き続き運用体制の強化を図りながら、皆さまの長期の資産形成に資するよう努めてまいります。

マルチマネージャー運用部長 瀬下 哲雄

◎受賞実績



**「R&Iファンド大賞2023」
優秀ファンド賞を受賞しました。**

格付投資情報センター（R&I）の選定する「R&Iファンド大賞2023」において「投資信託10年部門外国株式コア」で「優秀ファンド賞」を受賞しました。
受賞は10年連続となります。



**「リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワード・ジャパン2023」
最優秀ファンド賞を受賞しました。**

「リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワード・ジャパン2023」において、投資信託部門 評価期間「10年」/分類「ミックスアセット 日本円 フレキシブル型」で「最優秀ファンド賞」を受賞しました。
受賞は9年連続となります。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		為替レート	投資信託						投資証券 組入比率	米国 オポチュニ ティ	AB 米国株式 集中	BBH ・コア ・セレクト	FSSA アジア	Vontobel mtx エマ ージング	純資産 総額	
	(分配)	税込み 分配金	期中 騰落率	期中 騰落率	米ドル (円)		投資信託 受益証券 組入比率	コムジエスト ・ヨーロッパ	コムジエスト ・エマーヅィング	スパークス ・ワンアジア	スパークス ・集中投資	スパークス ・長期厳選								コムジエスト 日本株式
第13期 (2019年12月10日)	円	円	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	百万円	
22,649	-	13.1	19,554	13.4	108.67	56.4	27.3	12.8	4.3	3.1	5.4	3.5	42.1	22.5	9.9	9.6	-	-	87,718	
第14期 (2020年12月10日)	26,279	-	16.0	22,176	13.4	104.28	52.3	26.1	13.7	-	2.9	5.0	4.6	46.0	23.0	9.5	9.2	4.3	-	123,813
第15期 (2021年12月10日)	32,402	-	23.3	29,030	30.9	113.47	48.8	26.8	10.5	-	2.9	4.4	4.3	49.4	21.4	10.0	10.0	8.0	-	185,489
第16期 (2022年12月12日)	31,475	-	△2.9	29,668	2.2	136.76	43.1	26.4	5.0	-	3.0	4.4	4.5	55.1	21.3	9.5	9.6	10.8	3.9	215,903
第17期 (2023年12月11日)	36,838	-	17.0	36,196	22.0	145.40	41.4	25.7	4.0	-	2.8	4.4	4.3	56.9	21.9	10.1	10.2	11.1	3.7	280,280

- ・基準価額は1万口当たりです。
- ・当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数のMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込)を参考指数として記載しております。参考指数は、設定日(2007年3月15日)の値を10,000として委託会社が計算したものです。
- ・参考指数は、基準価額への反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用して円換算しております。
- ・騰落率は、小数点以下第1位未満を四捨五入しております。
- ・組入比率は、対純資産総額です。組入比率は、小数点以下第1位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・為替レート(米ドル(円))は、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用しています。
- ・純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		参考指数		投資信託 受益証券 組入比率	コムジエスト ・ヨーロッパ	コムジエスト ・エマーヅィング	スパークス ・集中投資	スパークス ・長期厳選	コムジエスト 日本株式	投資証券 組入比率	米国 オポチュニ ティ	AB 米国株式 集中	BBH ・コア ・セレクト	FSSA アジア	Vontobel mtx エマ ージング
	円	%	期中 騰落率	%												
(期首) 2022年12月12日	31,475	-	29,668	-	43.1	26.4	5.0	3.0	4.4	4.5	55.1	21.3	9.5	9.6	10.8	3.9
12月末	29,906	△5.0	27,870	△6.1	43.1	26.2	5.0	3.0	4.4	4.5	54.9	20.6	9.8	9.7	10.9	3.9
2023年1月末	31,808	1.1	29,716	0.2	43.0	26.1	5.0	2.9	4.4	4.5	55.2	21.4	9.5	9.5	10.7	4.1
2月末	32,094	2.0	30,045	1.3	42.7	26.3	4.8	2.9	4.4	4.3	55.5	21.6	9.6	9.7	10.7	3.9
3月末	31,938	1.5	29,845	0.6	42.9	26.4	4.7	2.9	4.4	4.4	55.5	21.4	9.6	9.7	10.8	3.9
4月末	32,555	3.4	30,408	2.5	43.4	27.0	4.5	2.9	4.5	4.3	54.9	20.8	9.6	9.9	10.9	3.7
5月末	34,595	9.9	32,322	9.0	43.3	27.0	4.5	3.0	4.5	4.3	55.2	21.5	9.5	9.8	10.7	3.6
6月末	36,744	16.7	34,670	16.9	42.4	26.3	4.4	3.0	4.5	4.2	55.9	21.8	9.8	9.9	10.6	3.7
7月末	36,657	16.5	35,050	18.1	41.7	25.8	4.3	3.0	4.4	4.2	56.5	21.9	10.0	9.9	10.9	3.8
8月末	37,170	18.1	35,607	20.0	41.2	25.5	4.2	2.9	4.4	4.1	57.0	22.2	10.1	10.1	10.8	3.8
9月末	35,796	13.7	34,856	17.5	40.5	24.5	4.3	3.0	4.6	4.2	57.6	22.3	9.9	10.2	11.3	3.9
10月末	34,536	9.7	33,584	13.2	40.9	24.9	4.2	3.0	4.5	4.2	57.1	21.4	9.9	10.3	11.7	3.9
11月末	37,321	18.6	36,381	22.6	41.9	26.1	4.2	2.9	4.5	4.3	56.3	21.4	9.9	10.1	11.1	3.8
(期末) 2023年12月11日	36,838	17.0	36,196	22.0	41.4	25.7	4.0	2.8	4.4	4.3	56.9	21.9	10.1	10.2	11.1	3.7

- ・騰落率は、期首比です。
- ・組入比率は、小数点以下第1位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

当期の運用状況と今後の運用方針

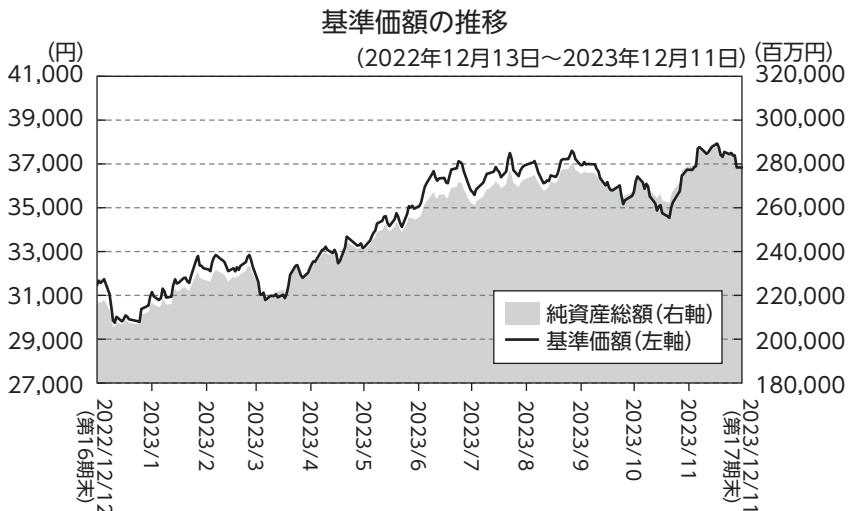
期中の基準価額等の推移

当ファンドの第17期(2022年12月13日～2023年12月11日)の年次運用状況をご報告いたします。

当期の基準価額の推移は、2022年12月22日に29,750円の最安値を、2023年11月27日に37,932円の最高値を付け、当期末の基準価額は36,838円でした。設定から当期末までの基準価額の騰落率は268.4%、当期の騰落率は17.0%でした。

【基準価額のハイライト】

	基準価額	日付
安値	29,750	2022年12月22日
高値	37,932	2023年11月27日



- ・当ファンドには、ベンチマークはありません。
- ・分配を行っていないため、分配金再投資基準価額は表示しておりません。表示されている基準価額が、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものとなります。
- ・上記騰落率は、小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しております。

【基準価額の主な変動要因】

当期は、投資先の株式ファンドの上昇と対ドルでの円安が基準価額の上昇要因となりました。投資先の株式ファンドのなかでは、欧州の株式に投資する「コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)」、米国の株式に投資する「バンガード 米国オポチュニティファンド」,「BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト」,「アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ」が特に基準価額の上昇に貢献しました。

参考指数やベンチマークとの対比では、「コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)」、「コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)」が銘柄選択効果により参考指数やベンチマークを上回った一方で、「コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)」、「スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)」、「アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ」、「フォントベル・ファンド-mtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズ」、「バンガード 米国オポチュニティファンド」、「FSSAアジア・フォーカス・ファンド」、「BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト」、「スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)」が銘柄選択の影響により、参考指数やベンチマークを下回りました。

< 基準価額のプラス要因 >

コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド 80 (適格機関投資家限定) (円)
対ドルでの為替レート (円安)
バンガード 米国オポチュニティファンド (米ドル)
BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト (米ドル)
アライアンス・バーンスタインSICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ (米ドル)
スパークス・長期厳選・日本株ファンド (適格機関投資家限定) (円)
コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド 90 (適格機関投資家限定) (円)
スパークス・集中投資・日本株ファンド S (適格機関投資家限定) (円)
コムジェスト日本株式ファンド (適格機関投資家限定) (円)
フォントベル・ファンド-mtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズ (米ドル)

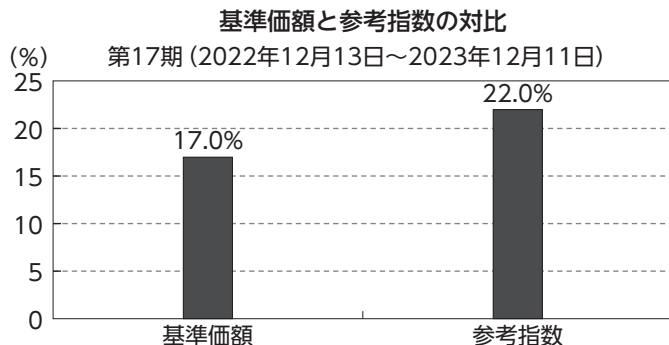
期中騰落率
17.0%

FSSA アジア・フォーカス・ファンド (米ドル)

< 基準価額のマイナス要因 >

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の当期の騰落率の対比です。



- ・当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数のMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込)を参考指数として記載しております。
- ・参考指数は、基準価額への反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用して円換算しております。

当ファンドの運用経過と結果

当期も引き続き株式への投資比率を高位に保ち、投資機会の大きさを勘案して幅広く国際分散投資を行うことを基本に、市場の行き過ぎを活用することを念頭に置き、地域ごとの目標投資比率を一定の水準に保ちながら投資を行いました。

当期は、前期に続いて「FSSAアジア・フォーカス・ファンド」の比率を徐々に引き上げ「コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)」の比率を徐々に引き下げたほかは目標投資比率の変更は行わず、積み立てなどのご購入により皆さまからお預かりした資金を利用して、各ファンドの相対的な値動きの違いにより目標投資比率に対して組入比率が低下したファンドを中心に購入を行いました。また、6月には解約により現金比率が低下したことを受けて、目標に対して組入比率が高めとなっていた一部ファンドの売却を行いました。

前期末から当期末の組入比率は、「コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)」が5.0%から4.0%へ低下しましたが、それ以外に大きな変動はありません。

投資環境

【株式市場の概況】

株式市場は上昇しました。

期の初めは、ゼロコロナ政策の終了により中国経済の回復への期待が高まったほか、エネルギー価格が低下したことを背景に欧州を中心に先行きへの悲観的な見方が後退したことを受けて上昇しました。3月には米国で地方銀行が破綻したことをきっかけに金融不安が高まって下落する局面がありましたが、その後は落ち着きを取り戻して反発しました。4月から5月にかけては物価の上昇が続いていることを背景に米国や欧州で金融引き締め観測が強まるなかでも、景気の先行きに対する楽観的な見方が広がって堅調な展開となりました。6月から7月にかけては人工知能(AI)の普及への期待が高まったことを受けて米国のハイテク企業を中心に上昇しました。8月以降は米国を中心に金融引き締めが長期化するとの見方を背景に先行きへの不透明感が強まったほか、欧州や中国で景気の低迷が確認されたことを受けて下落基調となりました。10月には米国で長期金利が上昇したことを受けて下落する局面がありましたが、11月以降は物価が落ち着きつつあるとの見方を背景に、米国や欧州で政策金利の早期引き下げ観測が強まったことを受けて上昇しました。

米国は、景気が底堅く推移するとの見方が強まるなかで、人工知能(AI)の普及などによりハイテク企業の収益拡大期待が高まって上昇しました。欧州は景気が低迷を続けたものの先行きに対する悲観的な見方が後退して上昇しました。日本は株価の相対的な割安感が意識されるなかで企業価値向上の取り組みが本格化することへの期待が高まり、割安株を中心に上昇しました。新興国はゼロコロナ政策の終了後も経済活動が低迷したことを受けて中国が下落した一方で、韓国、台湾、インドなどが上昇し、全体でも上昇しました。

【為替市場の概況】

円は下落し、対ドル、対ユーロで円安となりました。

高金利通貨を買って低金利通貨を売るキャリートレードが市場の動きを主導するなかで、ドルとユーロは次第にペースを落としながらも政策金利の引き上げが続いたことを背景に上昇しました。欧州で景気の先行きに対する悲観的な見方が後退したことを受けてユーロはドルに対しても上昇しました。円は金融緩和が長期間維持され、ドルやユーロなどとの金利差が大きい状況が続くとの見方を背景に下落しました。

期の初めは、日本銀行が長期金利の上昇を許容する政策変更を行ったことを受けて金融緩和の縮小観測が強まって円が上昇し、対ドル、対ユーロで円高となりました。その後は日本で金融緩和が長期間続くとの見方が強まって円安基調となりました。3月には米国での地方銀行の破綻をきっかけに金融不安が高まったことを受けて米国やユーロ圏で金融引き締め観測が後退して、対ドル、対ユーロで円高となる局面がありましたが、しかし、その後は米国やユーロ圏で政策金利が一段と引き上げられる一方で、日本では金融緩和の長期化観測が維持されたことから対ドル、対ユーロで円安基調となりました。7月には米国やユーロ圏で物価上昇が落ち着く兆候が確認されて金融引き締め観測が後退しドルやユーロが軟調となる一方で、日本で物価の上昇が続いていることを背景に金融緩和の縮小観測が強まって円が上昇して対ドル対ユーロで円高となりました。8月以降は、米国やユーロ圏で政策金利が長い期間高い水準で維持されるとの見方が強まる一方で、日本ではマイナス金利を含む金融緩和策が長期間維持されるとの見方が強まったことから対ドル、対ユーロで円安基調となりました。12月は米国やユーロ圏で政策金利の早期引き下げ観測が強まった一方で、日本で金融緩和の縮小観測が強まったことを受けて対ドル、対ユーロで円高となりました。

組入ファンドと為替レートの動き

バンガード 米国オポチュニティファンド(米ドル建て)

バンガード 米国オポチュニティファンドの当期の騰落率^{*1}は14.12%でした。対応する期間^{*2}のベンチマークである「ラッセル3000種指数(配当込・税引後)」の騰落率は16.25%でした。

- * 1 当ファンドの基準価額の算定はバンガード 米国オポチュニティファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、バンガード 米国オポチュニティファンドの騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用しています。
- * 2 バンガード 米国オポチュニティファンドの評価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっておりますので、「ラッセル3000種指数(配当込・税引後)」の騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用しています。



アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ(米ドル建て)

アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオの当期の騰落率^{*1}は14.63%でした。対応する期間^{*2}のベンチマークである「S&P500指数(配当込・税引後)」の騰落率は18.39%でした。

- * 1 当ファンドの基準価額の算定はアライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオの前営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオの騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。
- * 2 アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオの評価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっておりますので、「S&P500指数(配当込・税引後)」の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。



BBH・ルクセンブルグ・ファンズーBBH・コア・セレクト(米ドル建て)

BBH・ルクセンブルグ・ファンズーBBH・コア・セレクトの当期の騰落率^{*1}は17.74%でした。対応する期間^{*2}の「S&P500指数(配当込・税引後)」の騰落率は18.39%でした。

- * 1 当ファンドの基準価額の算定はBBH・ルクセンブルグ・ファンズーBBH・コア・セレクトの前営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、BBH・ルクセンブルグ・ファンズーBBH・コア・セレクトの騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。
- * 2 BBH・ルクセンブルグ・ファンズーBBH・コア・セレクトの評価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっておりますので、「S&P500指数(配当込・税引後)」の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。



FSSAアジア・フォーカス・ファンド(米ドル建て)

FSSAアジア・フォーカス・ファンドの当期の騰落率^{*1}は△2.53%でした。対応する期間^{*2}のベンチマークである「MSCIアジア・パシフィック・エクスジャパン・インデックス(配当込・税引後)」の騰落率は△0.93%でした。

- *1 当ファンドの基準価額の算定はFSSAアジア・フォーカス・ファンドの前営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、FSSAアジア・フォーカス・ファンドの騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。
- *2 FSSAアジア・フォーカス・ファンドの評価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっておりますので、「MSCIアジア・パシフィック・エクスジャパン・インデックス(配当込・税引後)」の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。



フォントベル・ファンドーmtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズ(米ドル建て)

フォントベル・ファンドーmtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズの当期の騰落率^{*1}は△0.34%でした。対応する期間^{*2}のベンチマークである「MSCIエマージングマーケット・インデックス(配当込・税引後)」の騰落率は2.74%でした。

- *1 当ファンドの基準価額の算定はフォントベル・ファンドーmtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、フォントベル・ファンドーmtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズの騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用しています。
- *2 フォントベル・ファンドーmtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズの評価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっておりますので、「MSCIエマージングマーケット・インデックス(配当込・税引後)」の騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用しています。



コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)(円建て)

コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)の当期の基準価額の騰落率^{*1}は23.35%でした。対応する期間^{*2}の「MSCIヨーロッパ・インデックス(円建て換算・配当込・税引後)」の騰落率は18.37%でした。

- *1 当ファンドの基準価額の算定はコムジエスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)の前営業日の基準価額を基に行う仕組みとなっておりますので、コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。
- *2 コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)の基準価額は前日の市場の終値と当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを基に算出することとなっておりますので、「MSCIヨーロッパ・インデックス(円建て換算・配当込・税引後)」の騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前の値と1営業日前の投資信託協会発表の評価用為替レートを基に算出しています。



コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)(円建て)

コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)の当期の基準価額の騰落率^{*1}は8.82%でした。対応する期間^{*2}の「MSCIエマージングマーケット・インデックス(円建て換算・配当込・税引後)」の騰落率は7.46%でした。

- * 1 当ファンドの基準価額の算定はコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)の前営業日の基準価額を基に行う仕組みとなっておりますので、コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用していません。
- * 2 コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)の基準価額は前日の市場の終値と当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを基に算出することとなっておりますので、「MSCIエマージングマーケット・インデックス(円建て換算・配当込・税引後)」の騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前の値と1営業日前の投資信託協会発表の評価用為替レートを基に算出しています。



スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)(円建て)

スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)の当期の基準価額の騰落率^{*1}は13.11%でした。対応する期間^{*2}の「東証株価指数[TOPIX](配当込)」の騰落率は21.54%でした。

- * 1 当ファンドの基準価額の算定はスパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)の前営業日の基準価額を基に行う仕組みとなっておりますので、スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用していません。
- * 2 スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)の基準価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっておりますので、「東証株価指数[TOPIX](配当込)」の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用していません。



スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)(円建て)

スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)の当期の基準価額の騰落率^{*1}は20.99%でした。対応する期間^{*2}の「東証株価指数[TOPIX](配当込)」の騰落率は21.54%でした。

- * 1 当ファンドの基準価額の算定はスパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)の前営業日の基準価額を基に行う仕組みとなっておりますので、スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用していません。
- * 2 スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)の基準価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっておりますので、「東証株価指数[TOPIX](配当込)」の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用していません。



コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)(円建て)

コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)の当期の基準価額の騰落率*¹は2.55%でした。対応する期間*²の「東証株価指数 [TOPIX] (配当込)」の騰落率は21.54%でした。

- * 1 当ファンドの基準価額の算定はコムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)の前営業日の基準価額を基に行う仕組みとなっておりますので、コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。
- * 2 コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)の基準価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっておりますので、「東証株価指数 [TOPIX] (配当込)」の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。



為替レートの推移

当期の対米ドルの為替レートは6.32%の円安(ファンドの基準価額にはプラスの影響)*²でした。

- * 当ファンドの基準価額の算定は、当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して行う仕組みとなっておりますので、為替レートの変化率は当ファンドの計算期間における投資信託協会発表の評価用為替レートを利用しています。



今後の運用方針

引き続き、長期的な成果だけに焦点を当て、一貫した姿勢で株式への投資比率を高位に保ってまいります。

当ファンドが長期の成果だけに焦点を当てているのは、市場の動きを正しく予想し続けることは難しい一方で、多面的な調査を行うことにより将来の価値をより良く見極めることができ、長期的には価格は価値を反映していくことが期待できると認識しているからであり、引き続き価値を重視した投資を行ってまいります。

具体的には、ファンド・オブ・ファンズの仕組みを利用して、それぞれの地域で強みを持つ複数の投資先ファンドが長期的な視点で個別銘柄の調査を行うことにより価値を見極めて割安と考えられる場合にのみ投資を行っています。そのうえで、地域ごとの投資比率を市場全体に対する評価の影響を受ける時価総額ではなく、投資対象となる企業の数と規模で表される投資機会の大きさを勘案して決定し、注目を集めている市場に過剰に投資することを避け、見過ごされている市場の魅力的な投資機会を活用することを目指しています。

当期の騰落率は前々期、前期に続いて参考指数を下回りましたが、資産を長期的に成長させるためには価値と価格の関係を重視して投資を行うことが最も重要との認識に変わりはありません。市場の動きを追いかけずにこの状況を受け入れることにこそ当ファンドの存在意義があると認識しており、一貫した姿勢で投資を行ってまいります。

マルチマネージャー運用部長 瀬下 哲雄

分配金

基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきます。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第17期
	2022年12月13日～2023年12月11日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	27,019

・対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

1万口当たりの費用明細

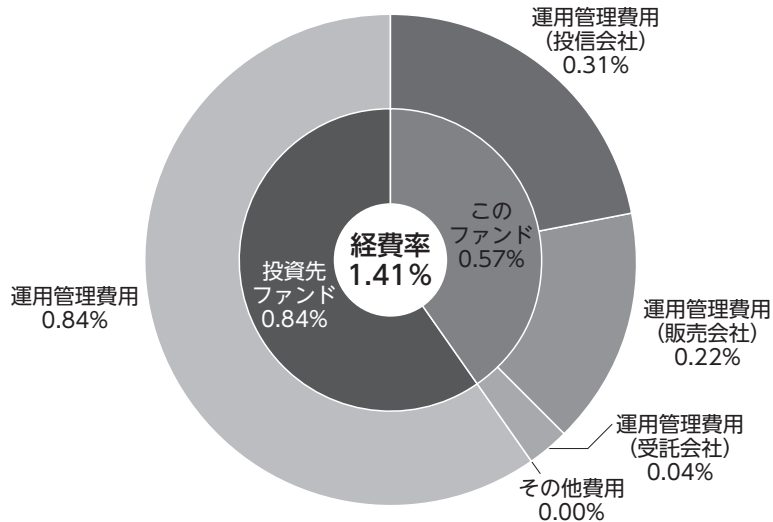
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2022年12月13日~2023年12月11日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	197円 (107) (77) (13)	0.572% (0.312) (0.223) (0.037)	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 ・ 委託した資金の運用の対価 ・ 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・ 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (監査費用) (そ の 他)	0 (0) (0)	0.001 (0.001) (0.000)	(b) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・ その他は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・移転等に要する費用
合 計	197	0.573	
期中の平均基準価額は34,393円です。			

- ・ 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・ 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
- ・ 財産維持手数料は当期は発生しておりません。
- ・ 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・ 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

<参考情報>

経費率(投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く)

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した経費率(年率)は1.41%です。



経費率(①+②)	1.41%
①このファンドの費用の比率	0.57%
②投資先ファンドの経費率	0.84%

- ・①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- ・②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費率を乗じて算出した概算値です。
- ・各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- ・各比率は、年率換算した値です。小数点以下第2位未満を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
- ・①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- ・上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。
- ・投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

期中の売買及び取引の状況 (2022年12月13日から2023年12月11日まで)

投資信託受益証券		買付		売付	
		□数	金額	□数	金額
国 内	コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80 (適格機関投資家限定)	千口	千円	千口	千円
	コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90 (適格機関投資家限定)	1,168,025	2,325,000	263,002	534,999
	コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90 (適格機関投資家限定)	—	—	282,167	300,000
	スパークス・集中投資・日本株ファンドS (適格機関投資家限定)	115,245	695,000	—	—
	スパークス・長期厳選・日本株ファンド (適格機関投資家限定)	150,891	850,000	10,160	65,000
コムジェスト日本株式ファンド (適格機関投資家限定)		1,175,376	2,115,000	—	—
投資証券		買付		売付	
		□数	金額	□数	金額
外	アイランド	千口	千米ドル	千口	千米ドル
	バンガード 米国オポチュニティファンド FSSAアジア・フォーカス・ファンド	28 1,919	33,750 48,150	— —	— —
国	ルクセンブルク	千口	千米ドル	千口	千米ドル
	アライアンス・パースタイン SICAV-コンセントレイトドUSエクイティ・ポートフォリオ	501	19,650	—	—
	BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト	390	16,407	—	—
フォントベル・ファンド-mtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズ		109	9,550	—	—

・金額は受渡し代金です。

・千単位未満を切り捨てて表示しております。

利害関係人との取引状況等 (2022年12月13日から2023年12月11日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

・利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年12月13日から2023年12月11日まで)

該当事項はありません。

自社による当ファンドの設定・解約状況 (2022年12月13日から2023年12月11日まで)

該当事項はありません。

組入資産の明細

ファンド・オブ・ファンズが組入れた円建てファンドの明細 (2023年12月11日現在)

ファンド名	期首(前期末)	当 期 末			
	単位数又は口数	単位数又は口数	評 価 額	比 率	
株式ファンド					
	千口	千口	千円	%	
コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)	33,402,160	34,307,183	72,106,837	25.7	
コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)	10,801,304	10,519,137	11,337,525	4.0	
スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)	1,095,099	1,210,345	7,983,678	2.8	
スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)	1,727,412	1,868,143	12,434,548	4.4	
コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)	5,352,481	6,527,857	12,054,341	4.3	
小 計	□ 数 ・ 金 額	52,378,458	54,432,666	115,916,932	41.4
	銘 柄 数	5	5	-	
合 計	□ 数 ・ 金 額	52,378,458	54,432,666	115,916,932	41.4
	銘 柄 数	5	5	-	

- ・千単位未満は切り捨てて表示しております。
- ・比率は、純資産総額に対する評価額の比率です。
- ・比率は小数点以下第1位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建てファンドの明細 (2023年12月11日現在)

ファンド名	期首(前期末)	当 期 末			比 率	
	単 位 数 又は口数	単 位 数 又は口数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
株式ファンド						
	千口	千口	千米ドル	千円	%	
バンガード 米国オポチュニティファンド	288	316	421,291	61,255,848	21.9	
アライアンス・パースタイン SICAV-コンソレテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	3,943	4,445	193,941	28,199,142	10.1	
BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト	3,681	4,072	196,395	28,555,836	10.2	
FSSAアジア・フォーカス・ファンド	6,806	8,726	213,216	31,001,680	11.1	
フォントベル・ファンド-mtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズ	726	836	71,151	10,345,417	3.7	
小 計	□ 数 ・ 金 額	15,447	18,396	-	159,357,925	56.9
	銘 柄 数	5	5	-	-	
合 計	□ 数 ・ 金 額	15,447	18,396	-	159,357,925	56.9
	銘 柄 数	5	5	-	-	

- ・邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
- ・千単位未満は切り捨てて表示しております。
- ・比率は、純資産総額に対する各通貨の投資証券評価額の比率です。
- ・比率は小数点以下第1位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

投資信託財産の構成

(2023年12月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	115,916,932	41.2
投 資 証 券	159,357,925	56.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	6,142,407	2.2
投 資 信 託 財 産 総 額	281,417,265	100.0

- ・金額の千円未満は切捨てて表示しております。比率は小数点以下第1位未満を四捨五入しております。
- ・当期末における外貨建資産(159,357,925千円)の投資信託財産総額(281,417,265千円)に対する比率は56.6%です。
- ・外貨建純資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。当期末における邦貨換算レートは1米ドル=145.40円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	281,417,265,451円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	6,142,407,399
投資信託受益証券(評価額)	115,916,932,104
投資証券(評価額)	159,357,925,948
(B) 負 債	1,137,153,561
未 払 解 約 金	360,026,615
未 払 信 託 報 酬	776,466,878
そ の 他 未 払 費 用	660,068
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	280,280,111,890
元 本	76,084,472,454
次 期 繰 越 損 益 金	204,195,639,436
(D) 受 益 権 総 口 数	76,084,472,454口
1万口当たり基準価額(C/D)	36,838円

期首元本額	68,595,516,944円
期中追加設定元本額	15,485,313,317円
期中一部解約元本額	7,996,357,807円
1口当たり純資産額	3,6838円

- ・当運用報告書作成時点では監査未了です。

損益の状況

当期 自2022年12月13日 至2023年12月11日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	32,729,028円
受 取 利 息	53
そ の 他 収 益 金	36,014,708
支 払 利 息	△ 3,285,733
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	38,087,739,676
売 買 益	41,014,959,287
売 買 損	△ 2,927,219,611
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,431,640,764
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	36,688,827,940
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	49,447,194,572
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	121,365,742,767
(配 当 等 相 当 額)	122,749,085,265
(売 買 損 益 相 当 額)	△ 1,383,342,498
(G) 合 計 (D + E + F)	207,501,765,279
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	207,501,765,279
追 加 信 託 差 損 益 金	121,365,742,767
(配 当 等 相 当 額)	122,749,085,265
(売 買 損 益 相 当 額)	△ 1,383,342,498
分 配 準 備 積 立 金	82,829,896,669
繰 越 損 益 金	3,306,125,843

- ・(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- ・(C)信託報酬等には信託報酬等に関する消費税等を含めて表示しています。
- ・(F)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- ・計算期末における費用控除後の配当等収益(31,440,551円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(3,335,126,154円)、信託約款に定める収益調整金(122,749,085,265円)および信託約款に定める分配準備積立金(49,447,194,572円)より分配対象収益は205,578,981,934円(1万口当たり27,019円)ですが、当期に分配した金額はありません。
- ・当運用報告書作成時点では監査未了です。

お知らせ

当期中の約款変更について

2022年12月13日から2023年12月11日までの期間に実施した約款変更は以下のとおりです。

- 2023年9月9日付
受益権の取得申込日および一部解約の請求日の変更に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。

<組入投資対象ファンドの内容>

以下は、当ファンドが投資対象としている投資信託受益証券ならびに投資証券の運用状況です。
 なお、以下の各項目の注記につきましては、42頁をご参照ください。

1. バンガード 米国オポチュニティファンド

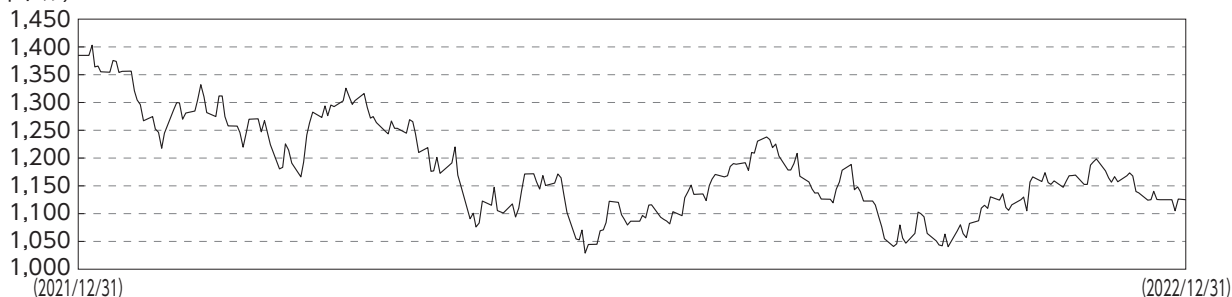
分類	インスティテューショナルシェア・クラス(米ドル建て)
ファンド形態	アイルランド籍/オープン・エンド会社型外国投資法人
ファンドの目的	平均を上回る潜在的な収益成長力がありながら、その企業価値がまだ市場価格に反映されていない銘柄へ投資することで、ファンド資産の長期的成長を目指すファンドです。
運用方針/投資対象	ファンドは主に米国株式に投資し、アクティブ運用を行います。長期的な視点で調査を行い、企業のファンダメンタルズ・バリュエーション（本来価値）に対して市場価格が魅力的な銘柄を選出します。時価総額に関する制約はありませんが、主に中小型株に投資します。
信託期間	無期限
運用会社	バンガード・グローバル・アドバイザーズ・エルエルシー
運用委託先	プライムキャップ・マネジメントカンパニー
保管銀行	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスティー・サービシズ(アイルランド)リミテッド
管理事務代行会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・ファンド・アドミニストレーション・サービシズ(アイルランド)リミテッド
設定日	2002年4月8日
決算日	毎年12月31日

(2022年12月末日現在)

1. バンガード 米国オポチュニティファンド

■基準価額の推移

(米ドル)



■組入上位10銘柄

(2022年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Eli Lilly & Co.	4.7
2	BioMarin Pharmaceutical Inc.	2.5
3	Flex Ltd.	2.2
4	Tesla Inc.	2.0
5	Biogen Inc.	2.0
6	Raymond James Financial Inc.	1.9
7	Alphabet Inc.	1.8
8	AECOM	1.7
9	Jacobs Solutions Inc.	1.6
10	Amgen Inc.	1.4
組入銘柄数		260銘柄

■1万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

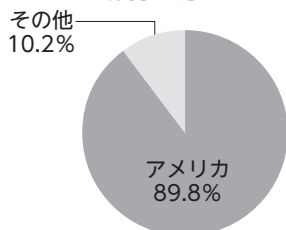
(ご参考)

■費用明細 (2022年12月31日現在)

ファンド財産	購入時	なし
維持手数料率	解約時	なし
運用管理費率(年率)(%)		0.85

・運用管理費率は、平均純資産総額に対する運用および管理等にかかる費用の総額の比率を示したものです。

■国・地域別配分



- ・国・地域別配分は、ファンドの投資資産に対する比率です。
- ・資産別配分、通貨別配分については、開示されていないため記載しておりません。

2. アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ

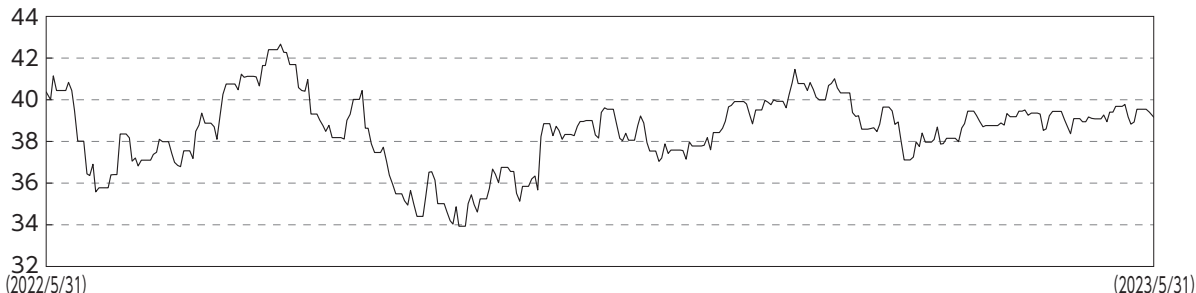
分類	クラスI
ファンド形態	ルクセンブルグ籍／オープン・エンド型外国投資法人
ファンドの目的 (基本方針)	投資元本の長期的成長を追求します。
主な投資対象・制限	当ファンドは、運用会社が非常に質が高く成長が期待できると判断する厳選された米国企業の株式およびワラント等その他の譲渡可能有価証券から構成される、アクティブ運用型の集中ポートフォリオに投資を行います。投資先となる企業は、その成長力、業務特性、収益成長、財務状況、および経験豊富な経営陣の評価に基づいて選定されます。
信託期間	無期限
運用会社	アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー
保管銀行／受託会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン(ルクセンブルグ) エス・シー・エイ
管理事務代行会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン(ルクセンブルグ) エス・シー・エイ
設定日	2013年12月23日
決算日	毎年5月31日

(2023年5月31日現在)

2. アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ

■基準価額の推移

(米ドル)



■組入上位10銘柄

(2023年5月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Microsoft Corp.	10.1
2	Mastercard, Inc. - Class A	8.6
3	Amazon.com, Inc.	7.7
4	IQVIA Holdings, Inc.	6.5
5	Cooper Cos., Inc. (The)	4.9
6	Eaton Corp. PLC	4.9
7	CDW Corp./DE	4.7
8	Adobe, Inc.	4.6
9	Constellation Brands, Inc. - Class A	4.6
10	Abbott Laboratories	4.5
組入銘柄数		20銘柄

■1万口当たりの費用明細

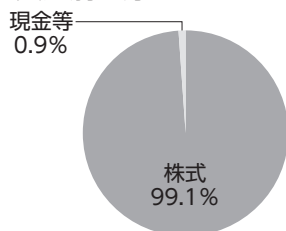
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

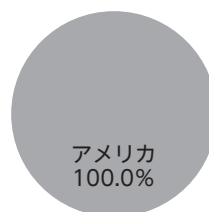
■費用明細 (2023年5月31日現在)

販売手数料	なし
信託財産留保金	なし
信託報酬(年率)(%)	0.85

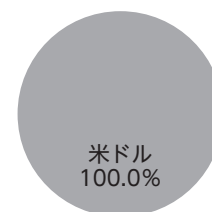
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



- ・資産別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ・国・地域別配分は、ファンドの投資資産に対する比率です。

3. BBH・ルクセンブルグ・ファンズーBBH・コア・セレクト

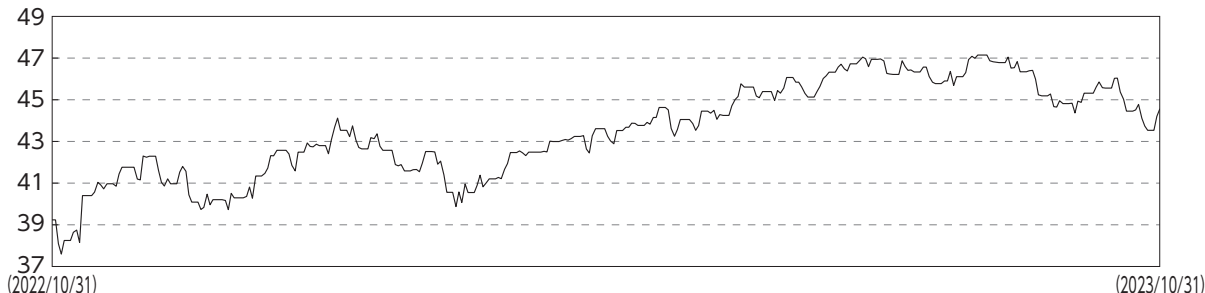
分類	クラスI
ファンド形態	ルクセンブルグ籍／会社型外国投資信託 UCTIS (SICAV)
ファンドの目的 (基本方針)	投資元本の長期的成長および長期にわたる魅力的なリターンの創出を目的とします。
主な投資対象・制限	当ファンドの投資対象は、主に米国株式市場に上場された中・大型株式が中心となっています。BBHが定めた6つの厳格な投資基準を満たす企業の株式をベースにユニバースを構成し、その中から割安と判断される約20-35のみを選択して集中投資を行います。
信託期間	無期限
運用会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・コー
保管銀行／受託会社	J.P. モルガン・バンク・ルクセンブルグ・エスイー (J.P. Morgan Bank Luxembourg SE)
管理事務代行会社	J.P. モルガン・バンク・ルクセンブルグ・エスイー (J.P. Morgan Bank Luxembourg SE)
設定日	2009年1月28日
決算日	毎年10月31日

(2023年10月31日現在)

3. BBH・ルクセンブルグ・ファンズーBBH・コア・セレクト

■基準価額の推移

(米ドル)



■組入上位10銘柄

(2023年10月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Berkshire Hathaway Inc (Class A)	6.6
2	Alphabet Inc (Class C)	6.1
3	Microsoft Corp	5.5
4	Linde PLC	5.4
5	Mastercard Inc	5.0
6	Arthur J Gallagher & Co	4.3
7	Progressive Corp	4.3
8	KLA Corp	4.1
9	Oracle Corp	4.0
10	Waste Management Inc	4.0
	組入銘柄数	27銘柄

■1万口当たりの費用明細

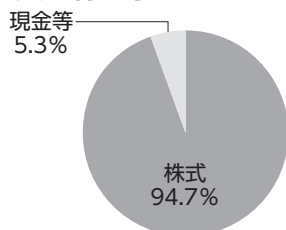
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

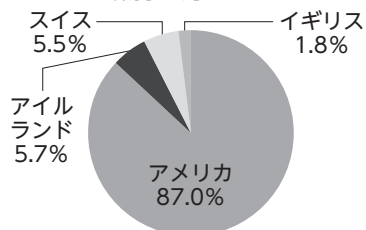
■費用明細 (2023年10月31日現在)

販売手数料	なし
信託財産留保金	なし
信託報酬(年率)(%)	1.00

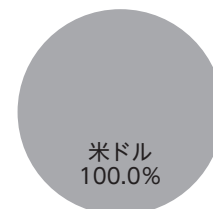
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



- ・資産別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ・国・地域別配分は、ファンドの投資資産に対する比率です。

4. FSSAアジア・フォーカス・ファンド

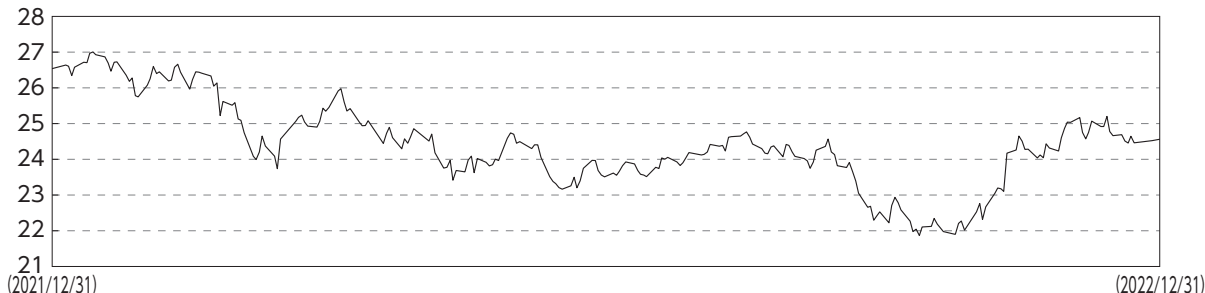
分類	クラスIII
ファンド形態	アイルランド籍／会社型外国投資信託
ファンドの目的 (基本方針)	十分に分散されたポートフォリオを構築し、クオリティーが高いと判断する銘柄への選別投資を通じて、長期的な受託資産の保全と成長を目指します。
主な投資対象・制限	当ファンドの投資対象は、主にアジア太平洋地域で設立された企業、および、当該地域で主たる事業を営む上場企業で、十分な市場流動性を有する大型・中型の銘柄とします。適切な制限を設けることでポートフォリオにおける十分な分散を考慮しますが、参考ベンチマークを意識することなく運用チームが高いクオリティーを有すると判断する確信度の高い企業のみを組み入れます。
信託期間	無期限
運用会社	F S S A インベストメント・マネージャーズ
保管銀行／受託会社	H S B C コンチネンタル ヨーロッパ
管理事務代行会社	H S B C セキュリティーズ・サービシズ(アイルランド)ディーエーシー
設定日	2010年3月11日
決算日	毎年12月31日

(2022年12月31日現在)

4. FSSAアジア・フォーカス・ファンド

■基準価額の推移

(米ドル)



■組入上位10銘柄

(2022年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	HDFC Bank	6.6
2	Singapore Telecommunications LTD	5.5
3	ICICI Bank	4.8
4	Sony Corporation	4.1
5	Colgate-Palmolive (India) Limited	3.9
6	Uni-President China Holdings Ltd.	3.4
7	Samsung Electronics Co Ltd Pfd NV	3.1
8	Olympus Corp.	2.8
9	CSL	2.6
10	Tencent Holdings Ltd.	2.6
組入銘柄数		51銘柄

■1万円当たりの費用明細

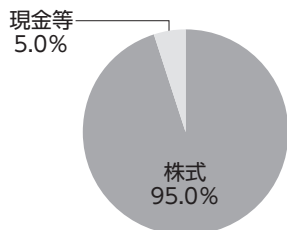
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

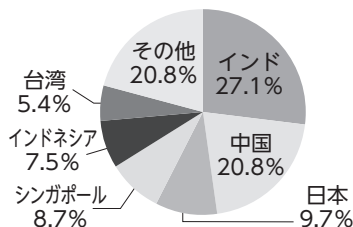
■費用明細 (2022年12月31日現在)

販売手数料	なし
信託財産留保金	なし
信託報酬(年率)(%)	0.85

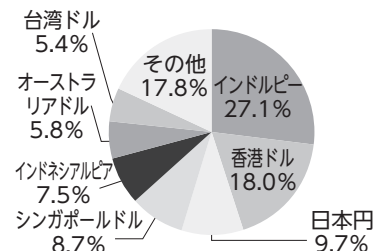
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する比率です。

5. フォントベル・ファンドーmtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズ

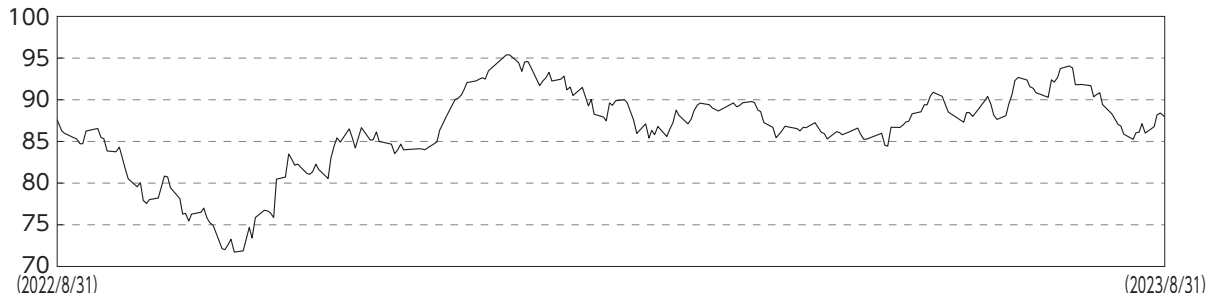
分類	Gクラス(米ドル建て)
ファンド形態	ルクセンブルグ籍／オープン・エンド会社型外国投資法人
ファンドの目的 (基本方針)	当ファンドは、主として新興国の株式に実質的に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主な投資対象・制限	主として新興国の企業の株式(預託証券を含む)の中で、持続的な成長が期待される銘柄に投資を行います。銘柄選定に際しては、投下資本利益率、業界内での競争優位性、株価の上昇余地、ESG基準の4つの軸で評価を行います。
信託期間	無期限
運用会社	フォントベル・アセット・マネジメント・アー・ゲー
保管銀行／受託会社	CACEISインベスター・サービスズ・バンク・エス・エー
管理事務代行会社	CACEISインベスター・サービスズ・バンク・エス・エー
設定日	2011年7月15日
決算日	毎年8月31日

(2023年8月31日現在)

5. フォントベル・ファンドーmtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズ

■基準価額の推移

(米ドル)



■組入上位10銘柄

(2023年8月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Taiwan Semiconductor-Sp Adr	6.7
2	Samsung Electronics Shs	5.6
3	Alibaba Group Holding Ltd	4.4
4	Tencent Holdings Ltd	4.2
5	Hdfc Bank Limited	4.2
6	Kia Motors Corp	3.4
7	Samsung Engineering Co Ltd	3.0
8	Pt Bank Mandiri Shs	2.8
9	Ping An Insurance Group Co-H	2.6
10	Focus Media Information Technology Co Ltd	2.5
	組入銘柄数	50銘柄

■1万口当たりの費用明細

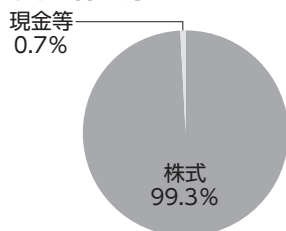
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

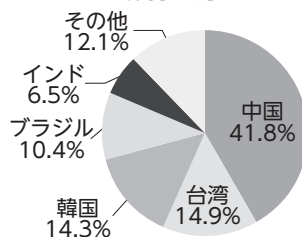
■費用明細 (2023年8月31日現在)

販売手数料	なし
信託財産留保金	なし
信託報酬(年率)(%)	0.65

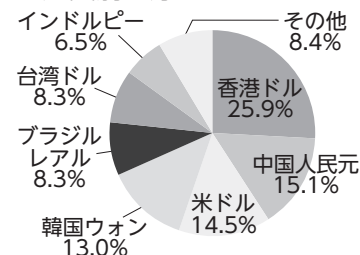
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する比率です。

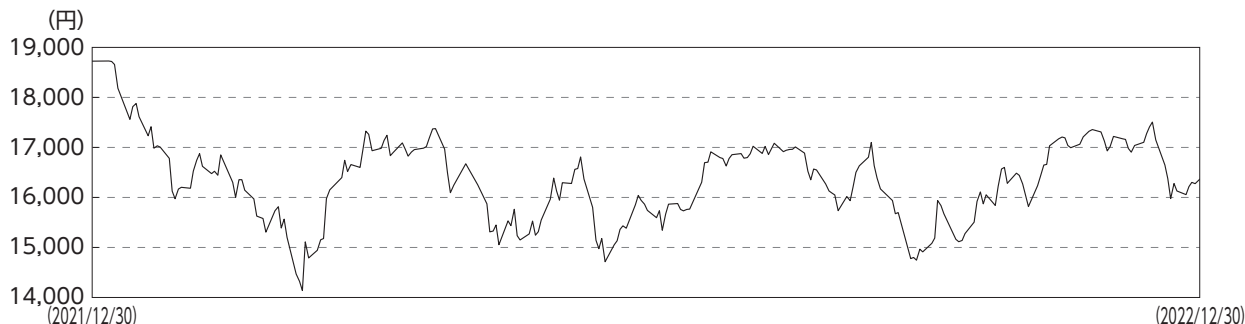
6. コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)

投資信託協会分類	追加型投信/海外/株式
ファンド形態	通貨：日本円/ファンド籍：日本(適格機関投資家限定)
ファンドの目的 (基本方針)	当ファンドは、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、積極的な運用を行うものです。
主な投資対象・制限	「ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。 株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
投資態度	①当ファンドはファミリーファンド方式により「ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます。)への投資を通して、主としてヨーロッパ諸国の株式に投資し、中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。 ②マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本としますが、相場環境によってはマザーファンドの組入比率の調整を行います。 ③実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ④原則として、有価証券先物取引等を行いません。 ⑤原則として、有価証券の貸付は行いません。 ⑥当ファンドの運用を行うコムジェスト・アセットマネジメントは、マザーファンドの運用の指図に関する権限をコムジェスト・エス・エー社に委託します。
収益分配方針	毎決算時に、収益分配方針に基づき収益分配を行います。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。
信託期間	無期限
委託会社	コムジェスト・アセットマネジメント株式会社
受託会社	野村信託銀行株式会社
設定日	2018年5月11日
決算日	毎年12月30日(年1回、休業日の場合は翌営業日)

(2022年12月30日現在)

6. コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)

■基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

(2021年12月31日～2022年12月30日)

項 目	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	145円 (91) (45) (9)	0.88% (0.55) (0.28) (0.06)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	3 (3)	0.02 (0.02)
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	7 (7)	0.04 (0.04)
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他 1)	7 (7) (0) (0)	0.04 (0.04) (0.00) (0.00)
合 計	162	0.98

期中の平均基準価額は16,473円です。

・各期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

・売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

・その他1は、外国株式に関する各種手数料等です。

・各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

■組入資産の明細

(2022年12月30日現在)

	当期末
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド	99.6%
組入銘柄数	1銘柄

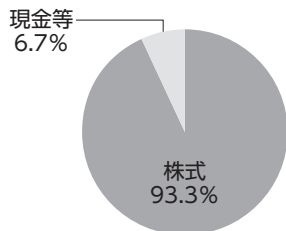
<ご参考> ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド

■組入上位10銘柄

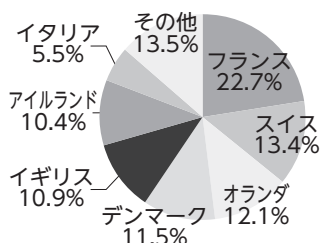
(2022年12月26日現在)

	銘柄名称	投資比率 (%)
1	NOVO NORDISK A/S-B	8.2
2	ASML HOLDING NV	6.8
3	ESSILORLUXOTTICA	6.5
4	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	4.9
5	LINDE PLC	4.7
6	ALCON INC	4.0
7	ACCENTURE PLC-CL A	3.7
8	STRAUMANN HOLDING AG-REG	3.6
9	EXPERIAN PLC	3.4
10	JERONIMO MARTINS	2.9
組入銘柄数		39銘柄

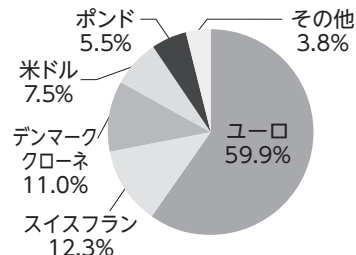
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



- ・投資比率は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価金額の比率です。
- ・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する比率です。
- ・国・地域は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

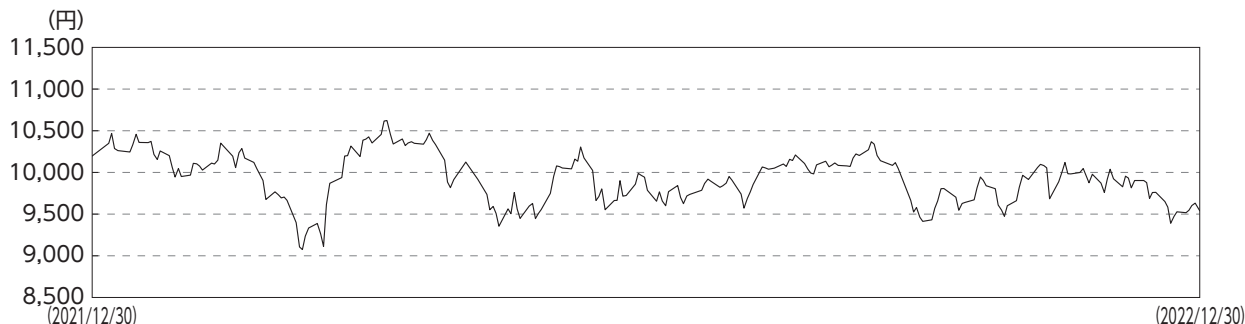
7. コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)

投資信託協会分類	追加型投信/海外/株式
ファンド形態	通貨：日本円/ファンド籍：日本(適格機関投資家限定)
ファンドの目的 (基本方針)	当ファンドは、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、積極的な運用を行うものです。
主な投資対象・制限	「ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。 株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
投資態度	①当ファンドはファミリーファンド方式により「ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます。)への投資を通して、主として新興諸国の株式に投資し、中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。 ②マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本としますが、相場環境によってはマザーファンドの組入比率の調整を行います。 ③実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ④原則として、有価証券先物取引等を行いません。 ⑤原則として、有価証券の貸付は行いません。 ⑥当ファンドの運用を行うコムジェスト・アセットマネジメントは、マザーファンドの運用の指図に開する権限をコムジェスト・エス・エー社に委託しています。
収益分配方針	毎決算時に、収益分配方針に基づき収益分配を行います。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。
信託期間	無期限
委託会社	コムジェスト・アセットマネジメント株式会社
受託会社	野村信託銀行株式会社
設定日	2018年5月11日
決算日	毎年12月30日(年1回、休業日の場合は翌営業日)

(2022年12月30日現在)

7. コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)

■基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

(2021年12月31日～2022年12月30日)

項 目	金 額	比 率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	98円 (62) (31) (5)	0.99% (0.63) (0.31) (0.06)
(b) 売買委託手数料 (株 式)	4 (4)	0.04 (0.04)
(c) 有価証券取引税 (株 式)	6 (6)	0.06 (0.06)
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他1)	24 (14) (0) (9)	0.24 (0.14) (0.00) (0.09)
合 計	132	1.33

期中の平均基準価額は9,929円です。

- ・各期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。
信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
- ・売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。
- ・その他1は、外国株式に関する各種手数料等、インド株式におけるキャピタルゲイン課税等です。
- ・各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

■組入資産の明細

(2022年12月30日現在)

	当期末
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド	99.3%
組入銘柄数	1銘柄

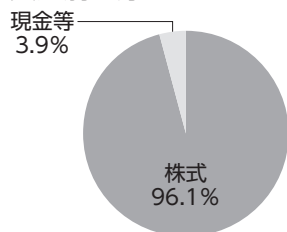
— <ご参考> ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド —

■組入上位10銘柄

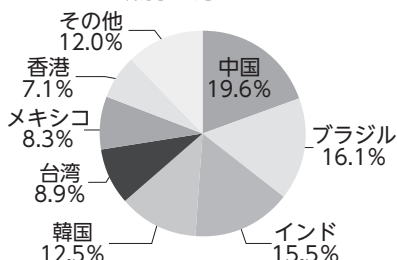
(2022年12月26日現在)

	銘柄名称	投資比率 (%)
1	INNER MONGOLIA YILI INDUSTRIAL GROUP CO.	5.7
2	BB SEGURIDADE PARTICIPACOES SA	5.4
3	FOMENTO ECONOMICO MEXICANO	5.3
4	HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	4.9
5	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	4.8
6	AIA GROUP LTD	4.7
7	WEG SA	4.1
8	LOCALIZA RENT A CAR	3.8
9	DELTA ELECTRONICS INC	3.7
10	MARUTI SUZUKI INDIA LIMITED	3.7
組入銘柄数		38銘柄

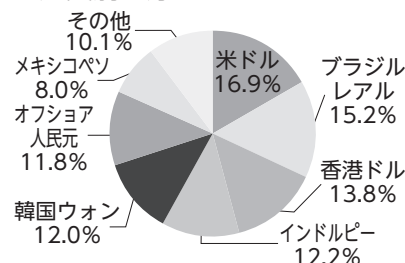
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



- ・投資比率は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価金額の比率です。
- ・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する比率です。
- ・国・地域は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

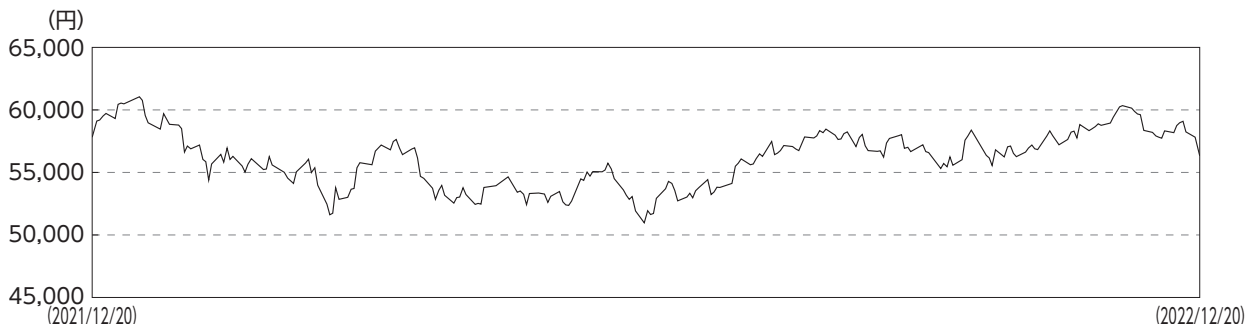
8. スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)

投資信託協会分類	追加型投信/国内/株式
ファンド形態	通貨：日本円/ファンド籍：日本(適格機関投資家限定)
ファンドの目的 (基本方針)	当ファンドは、スパークス集中投資戦略マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目標に積極的な運用を行います。
主な投資対象・制限	主としてマザーファンド受益証券への投資を通じて、わが国の金融商品取引所上場株式に実質的に投資を行います。なお、株式等に直接投資する場合があります。 ①株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ②外貨建資産への投資は行いません。
投資態度	①マザーファンド受益証券への投資を通じて、ベンチマークや業種にとらわれず、魅力的と判断したわが国の株式に集中投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して、積極的な運用を行います。 ②株式への投資にあたっては、ファンダメンタル分析に基づくボトムアップ・リサーチに基づき、銘柄選定・ポートフォリオの構築を行い、長期的な投資時間軸を持つことで、マーケットに埋もれている投資機会の発掘に努めます。また、投資先企業の経営者とコミュニケーションを図り、企業価値の向上を促すための実質的な株主として行動することがあります。 ③マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。ただし、資金動向等によっては、わが国の株式に直接投資する場合があります。実質的な株式の組入比率は信託財産総額の50%超を基本とし、実質的な株式以外の資産への投資は、原則として信託財産総額の50%以下とします。 ④資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
収益分配方針	原則として分配は行いません。
信託期間	無期限
委託会社	スパークス・アセット・マネジメント株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
設定日	2010年3月10日
決算日	毎年12月20日(年1回、休業日の場合は翌営業日)

(2022年12月20日現在)

8. スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)

■ 基準価額の推移



■ 1万口当たりの費用明細

(2021年12月21日～2022年12月20日)

項 目	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	467円 (414) (31) (22)	0.83% (0.73) (0.06) (0.03)
(b) 売 買 委 託 手 数 料	19	0.03
(c) そ の 他 費 用	2	0.00
合 計	488	0.86

期中の平均基準価額は56,565円です。

- ・期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・その他費用は、監査費用です。
- ・各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。
- ・各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」と期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

■ 組入資産の明細

(2022年12月20日現在)

	当期末
スパークス集中投資戦略マザーファンド	100.0%
組入銘柄数	1銘柄

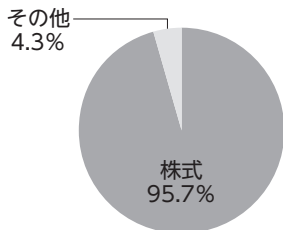
<ご参考> スパークス集中投資戦略マザーファンド

■組入上位10銘柄

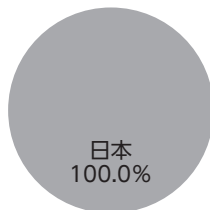
(2022年12月20日現在)

	銘柄名称	投資比率 (%)
1	MARUWA	8.7
2	東洋炭素	5.0
3	マックス	4.9
4	トーセイ	4.4
5	京成電鉄	4.0
6	フジミインコーポレーテッド	3.9
7	全国保証	3.9
8	ダイレクトマーケティングミックス	3.7
9	クミアイ化学工業	3.6
10	シップヘルスケアホールディングス	3.5
組入銘柄数		33銘柄

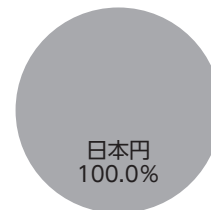
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



- ・投資比率は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率です。
- ・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率です。

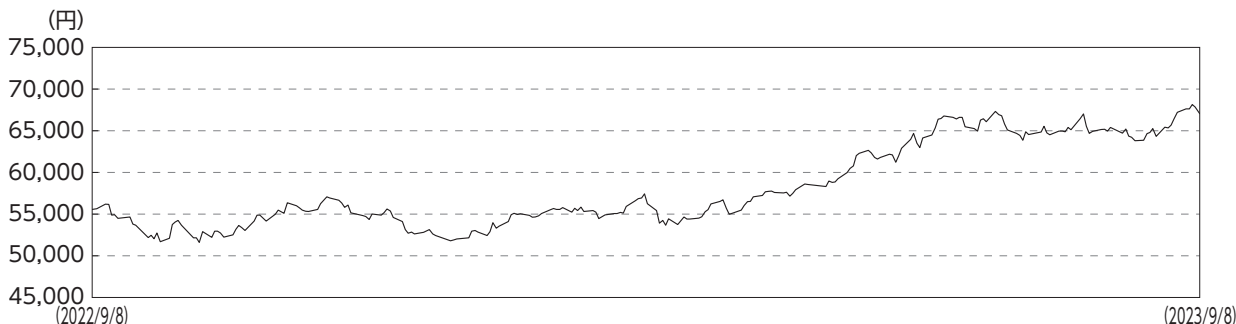
9. スパークス・長期厳選・日本株ファンド〈適格機関投資家限定〉

投資信託協会分類	追加型投信／国内／株式
ファンド形態	通貨：日本円／ファンド籍：日本(適格機関投資家限定)
ファンドの目的 (基本方針)	当ファンドは、信託財産の中長期的な成長を目標に積極的な運用を行います。
主な投資対象・制限	わが国の株式を主要投資対象とします。 ①株式への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資は行いません。
投資態度	①わが国の金融商品取引所(金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所をいいます。)に上場している株式の中から、ベンチマークや業種にとらわれず、魅力的と判断した銘柄に集中的に投資を行うことを基本とします。 ②ファンドの資金動向や市況動向等に急激な変化が生じたとき、ならびに残存元本が運用に支障をきたす水準になったとき等やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。
収益分配方針	原則として分配は行いません。
信託期間	無期限
委託会社	スパークス・アセット・マネジメント株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
設定日	2011年9月9日
決算日	毎年9月8日(年1回、休業日の場合は翌営業日)

(2023年9月8日現在)

9. スパークス・長期厳選・日本株ファンド〈適格機関投資家限定〉

■基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

(2022年9月9日～2023年9月8日)

項 目	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	512円 (494) (-) (18)	0.88% (0.85) (-) (0.03)
(b) 売 買 委 託 手 数 料	22	0.04
(c) そ の 他 費 用	2	0.00
合 計	536	0.92

期中の平均基準価額は58,166円です。

■組入上位10銘柄

(2023年9月8日現在)

	銘柄名称	投資比率 (%)
1	日立製作所	9.6
2	ソニーグループ	8.2
3	三菱商事	7.9
4	セブン&アイ・ホールディングス	7.0
5	ロート製薬	5.6
6	三菱UFJフィナンシャル・グループ	5.0
7	オリックス	4.9
8	東京海上ホールディングス	4.4
9	東京エレクトロン	4.4
10	リクルートホールディングス	4.4
組入銘柄数		27銘柄

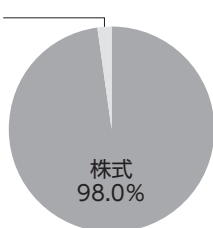
・期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

・その他費用は、監査費用です。

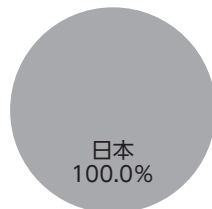
・各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

・各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

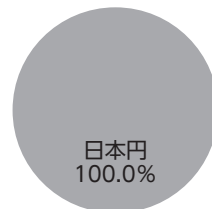
■資産別配分

その他
2.0%株式
98.0%

■国・地域別配分

日本
100.0%

■通貨別配分

日本円
100.0%

・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する評価額の比率です。

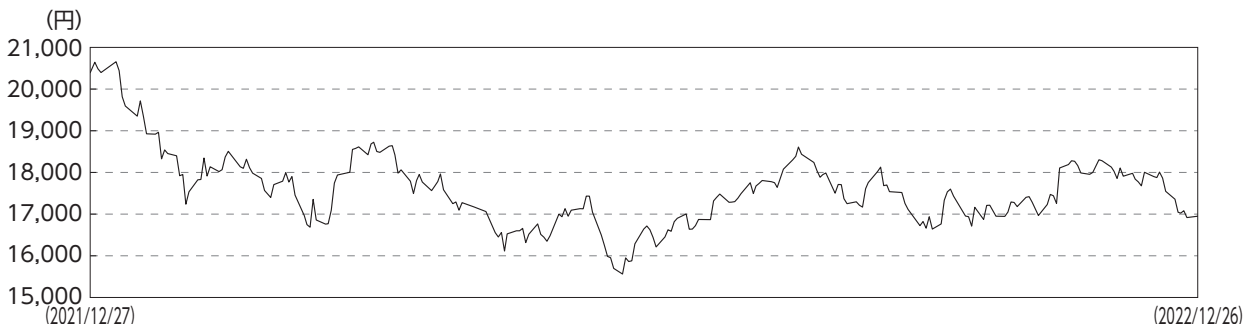
10. コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)

投資信託協会分類	追加型投信/国内/株式
ファンド形態	通貨：日本円/ファンド籍：日本(適格機関投資家限定)
ファンドの目的 (基本方針)	当ファンドは、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、積極的な運用を行うものです。
主な投資対象・制限	「コムジェスト日本株式マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。 株式への実質投資割合には制限を設けません。
投資態度	①当ファンドはファミリーファンド方式により「コムジェスト日本株式マザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます。)への投資を通して、日本株式に投資し、中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。 ②マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本としますが、相場環境によってはマザーファンドの組入比率の調整を行います。 ③有価証券先物取引等を行いません。 ④有価証券の貸付は行いません。 ⑤当ファンドの運用を行うコムジェスト・アセットマネジメントは、マザーファンドの運用の指図に関する権限をコムジェスト・エス・エー社に委託しています。また、コムジェスト・エス・エー社は当ファンドの運用に当たり、当社から日本市場に上場する企業が発行する株式および新株予約権、不動産投資信託にかかる投資助言を受領します。
収益分配方針	毎決算時に、収益分配方針に基づき収益分配を行います。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。
信託期間	無期限
委託会社	コムジェスト・アセットマネジメント株式会社
受託会社	野村信託銀行株式会社
設定日	2016年3月10日
決算日	毎年12月25日(年1回、休業日の場合は翌営業日)

(2022年12月26日現在)

10. コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)

■基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

(2021年12月28日~2022年12月26日)

項 目	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	151円 (97) (49) (5)	0.85% (0.55) (0.27) (0.03)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	5 (5)	0.03 (0.03)
(c) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (1) (-)	0.00 (0.00) (-)
合 計	157	0.89

期中の平均基準価額は17,688円です。

- ・各期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。
信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
- ・売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。
- ・各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

■組入資産の明細

(2022年12月26日現在)

	当期末
コムジェスト日本株式マザーファンド	99.6%
組入銘柄数	1銘柄

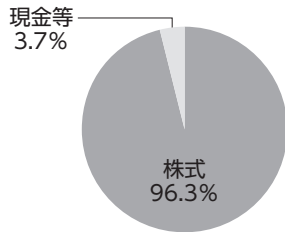
<ご参考> コムジエスト日本株式マザーファンド

■組入上位10銘柄

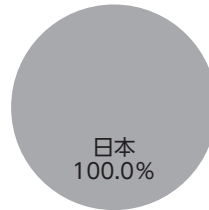
(2022年12月26日現在)

	銘柄名称	投資比率 (%)
1	第一生命ホールディングス	3.9
2	神戸物産	3.4
3	日本空港ビルデング	3.1
4	オリックス	3.0
5	シスメックス	3.0
6	オリエンタルランド	2.9
7	ファーストリテイリング	2.9
8	ソニーグループ	2.9
9	ニトリホールディングス	2.9
10	パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス	2.8
	組入銘柄数	44銘柄

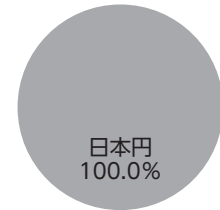
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



- ・投資比率は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価金額の比率です。
- ・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価金額の比率です。
- ・国・地域は、コムジエスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

- ・作成時点において、入手可能な各ファンドの直前計算期間の年次報告書をもとに作成しております。
- ・特に指定がない場合、投資比率はファンドの純資産総額に対する当該資産の評価金額の比率です。
- ・単位未滿を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

- ・「MSCIジャパン・インデックス(配当込)」は、MSCIが開発したインデックスであり、日本の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・「MSCIヨーロッパ・インデックス(配当込)」は、MSCIが開発したインデックスであり、ヨーロッパの先進国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・「MSCIアジア・パシフィック・エクスジャパン・インデックス(配当込)」は、MSCIが開発したインデックスであり、太平洋地域の先進国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・「MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込)」は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の新興国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・「MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込)」は、MSCIが開発したインデックスであり、先進国23カ国と新興国24カ国の計47カ国で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・S&P500はS&P ダウ・ジョーンズ・インデックス(S&P DJI)の商品です。この指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、S&P DJI に帰属します。S&P DJI は当指数等の情報に関し、その正確性・妥当性・完全性あるいは入手可能性を保証しません。また、S&P DJI は当指数等の情報の誤り、欠落についてその理由のいかにかわらず責任を負いません。また当指数等の使用による結果に対しても責任を負うものではありません。S&P DJI は当指数等の商品性あるいはその使用または特定の目的に対する適合性を含みますが、それに限定されるわけではなく、一切の明示的あるいは黙示的な保証を否認します。S&P DJI はファンドの受益者や他の人物等による当指数等の使用に関連したいかなる間接的、直接的な、特別なあるいは派生的な損害、費用、訴訟費用あるいは損失(収入の損失、利益の損失、機会費用を含む)について一切の責任を負いません。

本書では、各投資対象ファンドを以下の通りに省略して記載することがありますのでご了承ください。

バンガード 米国オポチュニティファンド → 米国オポチュニティ
 アライアンス・バースタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ → AB米国株式集中
 BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト → BBH・コア・セレクト
 FSSAアジア・フォーカス・ファンド → FSSAアジア
 フォントベル・ファンド-mtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズ → Vontobel mtX エマージング
 コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定) → コムジェスト・ヨーロッパ
 コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定) → コムジェスト・エマージング
 スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS<適格機関投資家限定> → スパークス・ワンアジア
 スパークス・集中投資・日本株ファンドS<適格機関投資家限定> → スパークス・集中投資
 スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定> → スパークス・長期厳選
 コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定) → コムジェスト日本株式

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。

選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リップパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

TOPICS：《当社の直接販売の状況 第17期（2022年12月13日～2023年12月11日）》

○ 当期間のふりかえり

2023年 4月	純資産総額（直販と販売会社の合計） 6,000億円を突破
11月	純資産総額 7,000億円を突破

○ 2023年12月11日現在 お客さま口座数 157,282件(前期末比+0.6%)

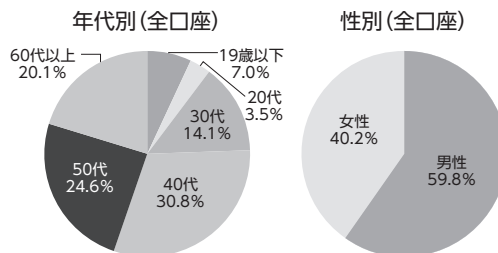
当期間でお客さまは946名増え、前期間の増加数と比べると1,389件減少しました。

また「つみたてNISA」は33,369名(当期間で501件増)、「ジュニアNISA」は6,283名(当期間で315件減)のお客さまにご活用いただいています。※NISAに関する数値は2023年11月末時点(前期末のお客さま口座数156,336件、前期間の口座増加数+2,960件)

○ お客さまの特徴

前期との比較では、性別構成に大きな変化はありませんでしたが、年代構成では、「50代」、「60代以上」の構成比率が増加しています。

口座開設から長期投資を継続いただいたお客様が年数を経たことで、年代の高いお客様の構成比率が少しずつ上昇しています。



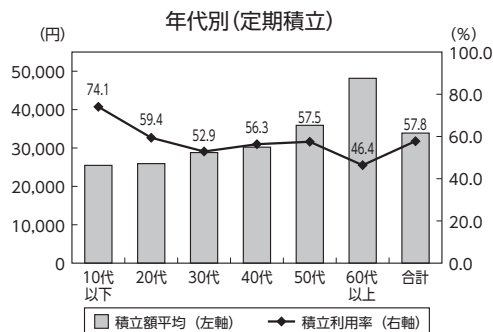
○ ファンドの設定・解約の状況

当期間の追加設定金額は前期間を若干下回る程度で推移しましたが、解約金額が増加したことで、当期間の純資金流入額は、前期間の金額296.2億円から減少し、76.3億円となりました。

○ 定期積立プラン

当サービスの全体の利用率は57.8%、60代以上を除き各年代のお客さまの5割以上の方がご利用されています。積立額の平均は33,889円と前期間から573円低くなりました。

・定期積立プランは、当社が運用、販売するファンド3種類のいずれか、もしくは複数のファンドで定期積立サービスをご利用いただいている方を対象としてデータを作成しています。また積立額平均、利用率は2023年11月時点の数値であり、積立額の平均は増額月の増額分の金額を含まない、一顧客あたりの平均値です。



お客さまに寄り添う運用会社を目指して、「セゾン顧客本位の相談室」の運営、対面やオンラインでのセミナーを引き続き実施し、お客様の長期投資に役立つ情報をお届けしてまいりました。さらに、お客様の利便性をより高めるため、2024年1月に新ネット取引「セゾンとつづく」をリリースいたします。お客様の長期投資を、二人三脚で支えさせていただくツールとして、パソコンやスマートフォンからスムーズにお手続き、お取引いただけるようになります。また、この「セゾンとつづく」を通してお手続きいただくことで、クレジットカード決済での積立でもご利用いただけるようになります。

引き続き今あるサービスの向上、新しいサービスの開始の両面に取り組んでまいりますので、ぜひご期待ください。これからも投資家の皆さまと共に長期で成長を目指す会社として、誠実なサービスのご提供に努めてまいります。

※お客さまの特徴や口座、金額は、保有しているファンドの種類や有無に関係なく、当社に口座を開設していただいている直接販売のお客さまを集計したものととなります。

※金額は、明記されたものを除き当社が2023年12月11日現在、運用、販売するファンド3種類を合計した数値となっています。